

令和元年度 県立宮古高等学校学校評価(学校評価まとめ)

【学校の教育目標】

憲法並びに教育基本法のために従い、民主社会の形成者にふさわしい知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。

【本年度の努力目標】

- (1) 魅力ある学校・信頼される学校づくりに努める。
- (2) 学力向上に努める。
- (3) 体力の向上に努める。
- (4) 積極的な生徒指導を実践する。
- (5) 進路指導を充実する。
- (6) キャリア教育を充実する。
- (7) 教育相談を積極的に推進する。
- (8) 図書、IT関連機器、視聴覚教材の充実とその利用に努める。
- (9) 職員研修を積極的に推進する。
- (10) 保健・安全教育を推進する。
- (11) 美しい学園づくりに努める。
- (12) 施設・設備の充実とその効果的運用に努める。
- (13) 国際化時代に対応する教育を推進する。
- (14) 地域の文化理解と連携を深める。
- (15) PTAや同窓会及び関係機関との連携を深める。
- (16) 生徒・職員が生き生きとやりがいを持って教育活動に取り組む環境づくりを推進する。

【本年度の成果と課題】

成果 ①国公立・私立大合格(埼玉大、北九州市立大、鳥取環境大、琉球大(16うち医学科1)、名桜大、慶応義塾大、青山学院大、中央大、法政大、神奈川大、立命館大、帝京大、近畿大、福岡大 等)  
 ②九州体育大会卓球・自転車・陸上・ウエイトリフティング競技出場 ③県総体卓球競技団体優勝(2連覇) ④県高校新人大会卓球競技完全制覇 ⑤NHK杯放送コンテスト沖縄大会優秀賞  
 ⑥九州高校総合文化祭文化連盟賞 ⑦高校音楽コンテスト金賞 ⑧九州吹奏楽コンクール出場 ⑨県吹奏楽アンサンブルコンテスト金賞 ⑩ガクアルFESTA高文連軽音楽コンテスト優勝(2連覇)  
 ⑪グローバルリーダー「アメリカ高等教育体験研修」郷土芸能「音楽」派遣 ⑫沖縄青少年科学作品展最優秀賞  
 課題 ①学力の向上(国公立大合格者増) ②新教育課程・探究学習の深化 ③高い次元での文武両道 ④募金員割れの解消

【評価】 A:達成できた(80%以上) B:ほぼ達成した(80%~50%程度) C:あまり達成できなかった(50%~30%程度) D:達成できない(30%以下)

評価項目	具体的目標	具体的方策	自己評価	令和元年度課題等	学校関係者評価	学校関係者からの要望等
(1)教育目標	○自己教育力の育成	① 自ら学ぶ態度と自己実現の能力を育てる。	B	○教育目標実現に向け概ね取り組んでいる。 ○レジャータイムなどの取り組みにより自己教育力の育成が図れつつあるが、さらに校内研修等の強化が必要である。	A	○保護者の経済力と生徒の学習意欲には、相関関係はあるのだろうか。
	○知・徳・体のバランスのとれた教育	② 毎日の授業を大切に、家庭学習、部活動を奨励する。	B			
	○緑豊かな教育環境の整備	③ 緑豊かな環境を整備し、心豊かな生徒を育成する。	B			
	○アイデンティティと国際性	④ 郷土の歴史・文化を誇りにし、国際協調の精神を育てる。	B			
(2)教育計画	○教育目標に沿った計画・立案を行う。	① 教育課程の整備、年間行事計画の策定・実施。	B	○新学習指導要領に沿った新教育課程の検討・策定を推進する。	A	○計画通り実施され、学園祭など素晴らしい行事が行われていた。
(3)教科・科目指導	○学ぶ楽しさを実感させ、学力の向上を図る。	① 説明、板書、発問等、各教諭の授業の充実	B	○ICTを活用した授業づくりを行い興味関心を高めることができた。 ○さらに家庭学習の習慣化を図り、自主学習を推進する。 ○Dゾーンの生徒への補習などを行い平均点の上昇が図られた。	A	○各種検定の取り組みをさらに図ってほしい。 ○さらに「Review Time」の継続及び発展を期待する。
		② 基礎・基本の確実な定着	B			
		③ 諸講座を実施し、学習の応用・発展を図る。	B			
		④ 個に応じた指導	B			
		⑤ 家庭学習の習慣化	B			
		⑥ 各種検定の奨励	A			
(4)総合的な学習の時間	○問題解決能力・国際理解の態度を育て、郷土に対する理解を深める。	① 全職員による取り組み	A	○地域探求が開始した。今年度からの実施であり、これからの改善が課題である。 ○台湾姉妹校交流やグローバルリーダーなど国際理解教育を進めることができた。	A	○国際的知識に対する探究欲の指導を深めてほしい。
		② 姉妹校との交流	A			
		③ 郷土学習の推進	A			
		④ 地域との連携	B			
(5)特別活動	○自主性・自立性を確立し、豊かな心を育成する。	① 学級経営の充実	B	○県大会等での活躍があり、全国・九州大会へ繋げることができた。 ○負担軽減、生徒の休息など、部活時間などあり方の検討が必要である。	A	○卒業式に参加するたびに、生徒と教師間の関係の良さを感じる。
		② 生徒会活動の活性化	B			
		③ 部活動の活性化	A			
(6)生徒指導	○基本的生活習慣の確立 ○交通安全教育の推進 ○問題行動の未然防止 ○人権教育の推進	① 動息指導・マナー指導・身なり指導を徹底し、挨拶を奨励する。	B	○いじめに値する問題行動なども、スクールカウンセラーとも連携して指導にあたることができた。 ○SNS等の指導への取り組みの強化を、さらに図る必要がある。	B	○登下校の生徒達の服装や道路の使用等、綺麗である。 ○SNSでのトラブルについての指導の継続。
		② 生命の大切さ・道路交通法の遵守の指導を徹底する。	A			
		③ 学年ごとに生徒指導集会を毎月もって指導する。	A			
		④ いじめ防止の指導を徹底し、カウンセリングガイドを持って生徒指導にあたる。	B			
(7)進路指導	○進路の早期決定 ○進路決定率を高める ○国公立大学への合格者数を増加させる ○進路意識の高揚	① 進路調査を活用し、三者面談、個別面談を実施する。	B	○新入試制度の情報発信を細かく行うことができた。 ○国公立大進学者の増に向けた取り組みをさらに強化していく。	B	○生徒・保護者アンケート結果より、充実した進路指導が実行されている。 ○各種奨学制度の情報発信に取り組んで欲しい。
		② 講座、進路相談を充実させ、対外面談を実施する。	B			
		③ 進路検討会を持ち、個に応じた指導を充実させる。	B			
		④ 進路講演会や各種講座・進路の保護者説明会を実施する。	B			
(8)教育相談	○教育相談を積極的に推進する	① 個に応じた支援体制の充実を図る。	B	○スクールカウンセラーとの連携は十分に図られているが、もう少し周知する必要がある。	A	○十分に計画実行されている。 ○スクールカウンセラーの存在及び利用方法の周知。
		② スクールカウンセラー等外部機関との連携を図る。	A			
(9)健康・安全指導	○健康・安全で幸福な生活のあり方を考える	① 保健講話(健康教育)を実施する。	B	○さらに健康教育、施設の安全管理面の強化を図る。	B	○保健相談の充実の検討。
		② 保健目標に沿って、保健便りを随時、発行する。	B			
		③ 生徒の安全確保及び施設の安全管理に努める。	B			
(10)環境美化	○緑あふれる、美しい学園づくりに努める	① 教室を中心に学校内の美化に努める。	B	○生徒自らが効率のよい清掃方法など考えるなど、環境美化に努めることができた。	B	○常に、校内・教室内が整備され、清潔感がある。
		② 全体清掃を徹底する。	B			
		③ 学校周辺の清掃活動	B			
(11)研究・研修	○職員一人一人の教育的実践力及び学校の総合的な教育力を高める	① 外部講師を招聘した職員研修を推進する。	B	○研修の時期、内容等、適切な実施を図り、職員研修の充実を図る。	B	○計画的な校内研修など進めてほしい。
		② 校内研修の充実を図る。	B			
		③ 授業研究の継続実施など授業改善に努める。	B			
(12)家庭・地域との連携	○開かれた学校づくり	① PTA活動の活性化を図る。	B	○さらにPTA相互の連携を図る。 ○さらにホームページの活用を推進し、学校広報に努める。	B	○父母との連携は、新聞記事等からも十分に取れてると考える。
		② 授業参観・三者面談の活性化を図る。	B			
		③ 学校のHP等をととして生徒の活躍や学校の情報を公開し、地域に学校の理解を求めることにより連携を図る。	A			